

津波防災啓発DVDについて

別紙

- 本DVDの津波防災啓発ビデオは、津波に関する防災意識の向上、避難するために必要な知識、特に津波の特徴や津波からの避難のしかた等を知ることを目的に作成したものです。
- なお、3月7日から新しい津波警報の運用が開始されます、この新しい津波警報の紹介ビデオも収録していますので、ご活用ください。



DVDのジャケットとラベル

- また、本DVDの内容は、気象庁HPでも視聴することができます。
 - 「津波からにげる」： http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_dvd/index.html
 - 「津波に備える」： http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_dvd_sonaeru/index.html

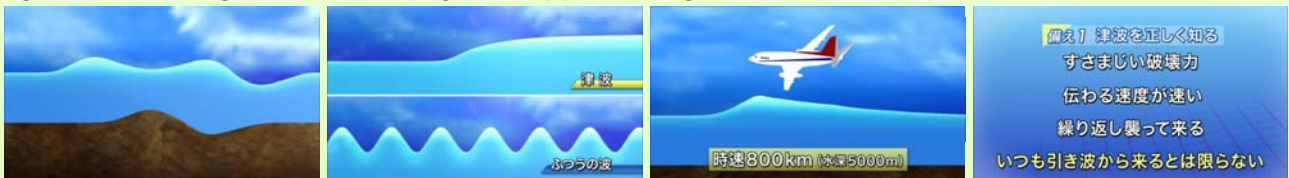
「津波に備える」本編内容

- 津波避難に必要な知識について、「①津波を正しく知る」、「②避難のしかたを知る」という『備え（テーマ）』で分け、東日本大震災における津波の映像やCG、津波から避難した方々のインタビューなどを用いて、「津波から避難するために知っておいてほしいこと」を伝えるために作成。
- 理科学的な内容も多く、中学生以上を対象にしています。



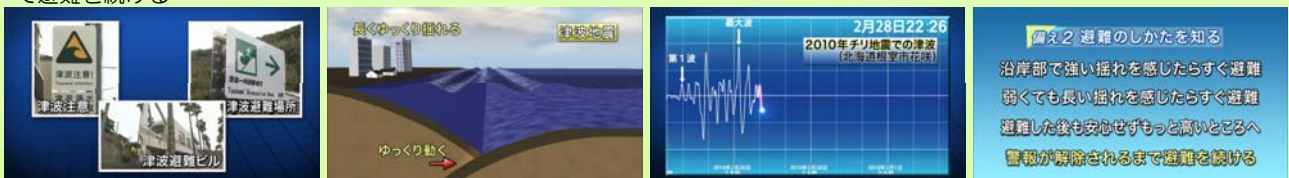
◎備え1：津波発生の仕組みやふつうの波との違いなどの特徴について解説。（約6分）

- 津波に関する4つの特徴を知って、避難が必要であることを知ってください。
- ①凄まじい破壊力、②伝わる速度が速い、③繰り返し襲ってくる、④いつも引き波から来るとは限らない



◎備え2：避難のしかたや、避難の際に注意しておいて欲しいことについて解説。（約7分）

- 避難のしかたに関する4つのポイントを知り、自主的な避難に役立てて下さい。
- ①沿岸部で強い揺れを感じたら、②弱くても長い揺れを感じたら、③避難した後も安心せず高いところへ、④警報が解除されるまで避難を続ける



「津波に備える」 資料編の内容

(1) 津波警報と津波注意報 (約9分)

- 気象庁が発表する津波警報がどのように発表されるのか、また、その内容について解説。後半では、津波警報についてよく聞かれる質問について、職員の出演による回答を収録。



(2) 避難の課題～災害時に陥りやすい心のワナ (約8分)

- 災害発生時などに、人が危険を無視してしまう「正常性バイアス」などの心理効果を知り、いざという時に備えてもらうため、安全・安心研究センター長の広瀬 弘忠（ひろせ ひろただ）さんが行った実験結果やインタビューを収録。



(3) 地域で取り組まれる津波防災 (約5分)

- 各地の学校や自主防災組織の津波防災の取り組みを収録。
 - ① 徳島県鳴門市の「率先避難者」を任命して地域全員で避難する取組
 - ② 和歌山県海南市黒江小学校におけるハザードマップの作成や作成の際に調査した結果を踏まえた住民約2千人が参加する訓練の様子
 - ③ 和歌山県串本町における自主防災会を中心とした、より短時間で避難できる避難路の建設や年1回の防災訓練の取組



(4) 緊急地震速報を使った地震・津波訓練 (約2分)

- 校内放送等、音声のみでも利用できる地震・津波訓練用の映像。緊急地震速報の発表（NHKテレビ放送をイメージ）から、地震発生、津波警報発表までの流れを収録。



「津波に備える」を視聴した中学生の感想

- 東京都の中学生に視聴してもらった感想です

●津波の科学的な説明について
図があってわかりやすいと思った

●津波の映像を見て
怖いと思った

●その他(被害写真)
昔の災害時の映像画像是印象的だった

●津波の科学的な説明について
津波が意外な生まれ方で驚いた

●津波の映像を見て
思った以上に強い波が押し寄せてきてびっくりした

●その他(訓練の映像)
すごく怖かった。でも、みんなに分かる音なのでいいと思う

●津波の科学的な説明について
理科で習っていることを、更に詳しく理解できた

●津波の映像を見て
東京でもし津波がおきたらどうなるのか、映像をみてよくわかった気がする

●その他(訓練の映像)
緊迫感があった

●助かった方のインタビューを見て
昔からの言い伝えを忘れない人は今(現在)でも役立つと思った

●助かった方のインタビューを見て
中学校や小学校などで習ったことが役立つのはすごいと思った

●その他(津波警報)
3分で情報を出せるのがすごいと思った

●助かった方のインタビューを見て
やっぱりちゃんと逃げたほうがいいと思った

●助かった方のインタビューを見て
昔から注意されていること、言い伝えは本当なのだと驚いた。学校で言われたことなどはしっかり守りたい

●その他(津波警報)
地震が起きたら、すぐにTV(等)で伝えられていることがわかった

「津波からにげる」の内容 その1

※「津波からにげる」の記載は平成24年4月当時の内容を一部加筆修正したものです。

- 津波から命を守るため、「迅速かつ自主的に避難するという意識の向上」、「避難のために必要な津波の正しい知識の獲得」、「日頃から津波に備えることの大切さを学ぶこと」を目的に、小学生以上を対象に学校の授業等で活用を期待して作成しました。
- 本編は、3分～5分程度の4つのパートで構成しており、全体を連続で視聴するほかにも、学級活動等の短い時間や、授業の振り返りなどで繰り返し視聴するといった場面でも活用できます。

① アニメーション（約5分）及び ② 避難した方々のインタビュー（約4分）

アニメーション



東日本大震災における岩手県釜石市立鶴住居小学校の子どもたちが、避難先を何度も替えながら津波からにげた様子をアニメーションで再現。自分たちと同世代の避難の様子が描かれることで自分達のこととして受け入れやすく、更に、アニメーションとしたことでわかりやすく、子どものうちから継続的に津波避難等について学ぶことができる内容としました。

また、実際に避難した先生や子ども達のインタビューを交えながら「津波からどのようににげたらよいのか」を伝える内容もまとめています。

インタビュー



「津波からにげる」の内容 その2

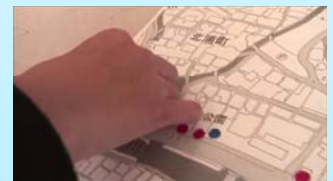
③ 津波クイズ（約4分）



津波に関する基礎的な知識を4つのクイズとして出題。回答は映像を交えて解説し、難解となりがちな内容を楽しみながら学ぶことができます。

④ 防災マップを作ろう（約3分）

日ごろからの備えも重要です。「防災マップを作ろう」では、三重県尾鷲市立宮之上小学校で取組まれた防災マップの作成の事例を紹介。子ども達が町に出て、危険な場所を調べたり、調べた結果を地図上に示していく経過を紹介しています。



●解説編（本編と同じ約17分）及び資料映像

ビデオがどのような内容か確認する際の参考としての「解説編」や、津波と普通の波の違い、避難訓練の取組みの様子などの映像を収録。事前の参考や個別説明の資料として活用されることを期待しています。



解説編



普通の波と津波の違いを見てみよう！

津波と波の違い



避難訓練